

電波利用環境委員会報告概要(案)

～CISPRストレージ会議の結果について～

CISPRストレージ会議の主な結果(F小委員会)

● 家庭用電気機器・電動工具等の妨害波規格(CISPR 14-1)の改定

【対処方針】

2ndCDに対する各国からの意見がCDVに反映されており、技術的事項については審議が重ねられている。CDVにおける我が国の意見が引き続き反映されるよう、必要に応じて説明を行う。

【審議結果】

CDVが可決された。我が国が記載漏れを指摘した有線ネットワークポートの要求事項を追加するなど、技術的事項に係る提案は反映できた。また、IH式調理器の30 MHz以下の許容値及び測定法の要求について、家庭用か業務用かで分けて適用する現行の規定から、EUTサイズが1.6m以下かそれを超えるかで分けて適用するよう規定を修正することとした。

今後、12月中にFDISを発行することとなった。

● 照明機器等の妨害波規格(CISPR 15)の改定

【対処方針】

現行規格では、適用される機器と許容値の対応関係がわかりづらい等の課題があったため、対応関係の明確化を含んだ次版のCDが発行された。CDにおいて、新たに導入されたポートやネットワーク等の定義について明確化を求めるなど、我が国の意見が反映されるよう対処する。

【審議結果】

ローカル有線ポートには従来のAAN法を併記して残すべきなど、我が国の意見を多く反映できた。また、CDNE法を適用するEUTサイズを3m×1m×1mまでとすることなどが決定された。

検討すべき項目が多く残されているため、規格策定期間を1年間延長して2018年に変更し、次の検討段階を2ndCDとすることが決定された。

CISPRストレージ会議の主な結果 (F小委員会)

● ワイヤレス電力伝送システムの審議

【対処方針】

我が国はTF-IPT設置当初から参加して意見を提出しており、2ndDCにおいても測定法について誘導コイルの水平・垂直方向の2回実施すべき等の意見が採用されている。同DCにおける我が国の意見が引き続き反映されるよう、必要に応じて我が国の意見の説明を行う。

【審議結果】

測定法について、ラージループアンテナからループアンテナに変更したいとの提案が出され、検討の結果、代替測定法としてループアンテナを採用することとなった。

CISPR 14-1第6版のFDISが可決された後、速やかに修正1のCDを回付することが確認された。